



山本健一 市議会だより



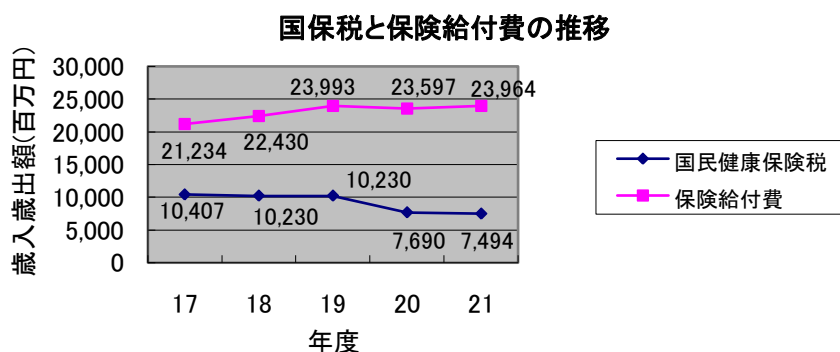
〒970-8047
いわき市中央台高久 2 丁目 12 番地の 6
TEL 090-6224-2374 FAX 0246-46-0650

ホームページ www.iwaki-yamaken.org/
ブログ ameblo.jp/iwaki-yamaken/
ツイッター twitter.com/iwakiyamaken
メール k.yamamoto88030@gmail.com

【主な可決議案】

・いわき市国民健康保険税条例の改正

国保加入者の高齢化や不況による所得の低迷から、保険税収が減少傾向にある一方で、保険給付費が増加しています。現行のままの国保税の税率では、平成 22 年度の国保事業の歳出が歳入を上回ることが予想されます。それを踏まえ、税率改定の議案が提案され、原案通り可決されました。



このままでは、ずるずると税率改定が繰り返される可能性があるかと判断し、わたくしはこの条例改正案に反対しました。抜本的には国保、共済、社保などの健保の一本化、短期的には、国保税の徴収率の向上や給付費の抑制を、具体的数値目標を設定し、取り組むべきだと思います。

【一般質問】

1. いわきコンピュータ・カレッジの運営の継続

カレッジは運営継続

カレッジの運営主体である雇用・能力開発機構が、平成 22 年度末に廃止されることに伴い、今後、カレッジの継続を市として主体的に取り組むべきではないかという点について質問しました。

平成 21 年 12 月に、国より、「全国のコンピュータ・カレッジは平成 22 年度末をもって、同機構の業務としては廃止する。カレッジ施設は希望する自治体へ譲渡する」旨、通知がありました。カレッジのコンピュータなどの機材と建物に関する経費は、同機構が負担しています。

これを踏まえ、いわき市では、カレッジの必要性をどう考え、市として主体的にカレッジを運営する考えはあるか、と質問しました。市から、高度な情報処理技術を有する人材の育成・確保のために、本市にとって必要不可欠な施設であり、国が廃止した場合においては、何らかの形で運営を継続していく必要があると考えている、との答弁を得ました。

継続に当たっては、カレッジのレベルアップ、職業訓練の充実・強化、機材の導入・運用コストの低減など、現状の問題点を確実にクリアする必要があると思います。

教員に対するパソコン一人一台体制の整備率は **33.8%**、平成 33 年整備完了予定

2. 情報資産の流出防止策について

今年平成 22 年 2 月に、本市の小学校に通う児童名簿の一部が流出した事案が発生しました。4 年前平成 18 年の 4 月にも本市で情報漏えい事案が発生しています。今回情報漏えいが繰り返されたわけで、具体的な対策を以て、情報セキュリティ上のリスクを低減する必要があります。

平成 22 年 3 月現在、市立小中学校の職員室で、1,860 台もの個人所有パソコンが使われています。これは、情報セキュリティ上、極めて憂慮される状況であるため、その対策について質問しました。

本来、教員が職員室で使用するパソコンは、市が配備すべきものですが、教員に対するパソコン一人一台体制の推進状況を問うたところ、整備率は 33.8%で、平成 33 年度に完了する予定とのことです。

整備完了まで 10 年の歳月を要することは、情報セキュリティに関する切迫感が感じられず、このままでは、情報漏えい事案の再発が心配されます。

そこで、整備完了までのつなぎとして、学校で使われている教育用パソコンのリース満了後、それを教員用パソコンとして流用する方策を提案したところ、「パソコンの経年状況、機能の追加など、検討すべき課題もありますが、情報管理を行う上で有効な面もあることから、今後、調査研究して参りたいと考えております」、との答弁を得ました。

魚市場視察

宮城県石巻市と気仙沼市の魚市場を視察してきました。

どちらの魚市場も活気があり、両市における水産業の位置づけの高さを実感しました。気仙沼市の魚市場では、フカヒレの原料のよしきり鮫と、かつおの水揚げを目の当たりにすることができました。

現在、小名浜の魚市場を今後どうするか、議論がなされていますが、石巻と気仙沼と同じように、目の前に無限の太平洋があり、また、東京圏の大消費地に近いという立地上の利点もいわき市にはあるので、小名浜の魚市場を再建し、水産業の拡大、発展を図ることが必要だと思えます。

市役所や学校の職員室で、情報資産を取り扱う場合、そこには、まだまだ情報セキュリティ上のリスクが多く存在するようです。セキュリティの強化と利便性のバランスを踏まえながら、より実効性のあるセキュリティ対策が望まれます。

**みなさまのご意見、ご要望をお聞かせください。
これからも
よろしく願います。**